

特別展「道中日記 江戸時代の旅」関係史料集

●坂東秩父道中附（岩崎家文書 No.666）

（表紙）

享保十八年

坂東秩父道中附

巳五月廿八日

覚

五月廿八日立

かうのす迄 道法六里

但シ此所にて昼食遣是より

十壺ばん

よしみ迄式里渡し舟有

堂五間四面吉見よりひ

き迄三里此間ニ松山といふ

宿有大とり原有□□□ばん泊申候

木銭拾八文更ニ壺舁三合

□□□所泊り廿九日立

ひきより市じこうし迄

此所女人堂しやか堂

四里じかうよりたけのかわ

迄壺里半山道たけ

かわより四万部迄四里

此間ニ山高しな峠難所

廿九日□

秩父一番泊り木銭

十八文米七拾式文四万部

より大たな江廿式丁余川さ□  
有大たなより岩元へ廿四丁

岩本寺よりあしきれ

□□□よりごかのとう

十式丁余小かの寺よりみぎ

入十壺丁金あきのとうより

うしふし江式町余 うし

ふしより さひぜん寺へ拾丁

余 さひせんじより 明ちへ

十五丁 あけちより大慈寺

十九丁余大じ寺より□

□へ七丁余山ごへ是

よりのさか寺江九丁余

是より旗下へ六丁余

是よりいま宮へ五丁余

是よりそう福寺江四丁余

是より十六さいかう寺江八丁余

是より大宮町此所秩父

乃そうし也明見富士

長物有是より十七番林寺へ

七町余是より高越□

十丁余是より龍岩寺へ

十丁余是より岩之上

八町余此間舟渡し有

是よりやのどう江六丁

余此所よりはうし

とう六丁余是より

おがさかへ拾六丁有

此所より白山へ廿八町

此所泊り木錢拾八文  
米七拾文是より立  
方みな岩谷堂  
下がけ番長九町  
拾四間川渡し有かけもり  
ゑんえゆう寺迄廿  
二日昼食遣ハ三十番下  
晚泊りハ若及沢木錢  
十六文米七拾文  
此所三拾壺番はわしの  
岩谷おくの院并□□  
□□□□□□□□  
□□□□□□□□  
□□□□□□□□  
三十三番宿ニ而昼食  
懸川ヲ四度渡し并山  
大難所有出牛泊り  
三十四番より泊り  
木錢拾六文米  
七拾貳文四日是  
よしい急い而昼食  
□四り是よりめう  
ぎ迄六リ半  
泊り木錢三拾文  
此内かな川四度越す  
米七拾貳文此所立  
五日めうぎよりはるな  
迄七リ半此内ニ  
風切りとうげといふ

大山有大難所なり  
是よりいかほ迄二リ  
半有いかほ泊り  
更ニ米壺舁六合  
木錢拾四文 六日  
いかほより水さわ  
のかんおん迄二リ  
十六ばん札所白岩迄  
三リ半十五ばん札所  
くわんおん此所より  
上野通り前橋迄  
三リ半泊り木錢  
廿五文米六拾貳文  
前橋まえ之とね川  
越舟錢貳拾文つゝ懸り  
前橋より大原江三リ  
昼食遣  
此間ニわたらせ川  
かわこし□□つゝり  
通りあしかゞを□  
あかぎ泊り木錢  
廿五文米七拾貳文  
あかぎよりいづる迄  
六リ昼食遣参  
り大師之若谷へ  
百四拾壺文つゝニ而  
ひかの大日様と観音  
様で廿七文つゝぢん  
しやう於酒代拾貳文

切手式所ニ而出し  
山此所よりあわの町  
迄三リ  
泊り此間山有難所  
木錢廿式文米一舛  
六拾四文十日立  
あわのより大谷迄六リ  
かのま迄三リ  
昼食懸かのま通り  
六リ今市迄三リ  
大谷より日光迄七リ  
三リ  
日光泊リ坊  
百五拾文泊リ□□□  
その外入用三百文  
掛りあわのより大谷迄  
の内ニ川五つこし  
十日権現様より忠谷寺  
迄三リ坊よりはつ  
石迄壺り大留泊り  
拾六文十一日はつ□  
より今市迄式リ  
今市より藤原迄三リ  
半是より高原迄三リ  
此間ニきぬ川有  
五拾文つゝニ而こし  
是より高原山大難所  
上り三リ下り式リ  
高原町よりいかり迄

六リ半今市より  
いかり迄拾壺り  
半いかり泊り  
木錢式拾文米四拾八文  
十二日いかりより  
三之みね迄六リ  
山有難所是より□□村  
□□□よりなな原迄  
式リ川有此所泊り米四舛  
木錢百文此間川有  
拾三間七原よりいちの迄  
五リ半此所昼食間ニ小山  
式つ有いちのより六リ半行テ  
柳津泊り間ニ式つ山有  
此所ニこくう蔵おひん徒寺立つ  
木錢廿文米三拾五文也  
やないづより志を川迄  
五リ半昼食是より  
大志を迄壺り半  
此所大師之御作之  
しを有  
大塩ときゝ  
し小曾寺志を  
みさか上りて見れ  
ばひ原松原  
是次ニ  
大山大志をとうげ  
とゆふ茶屋式けん有  
大塩よりとうげ迄

壺り壺丁有是より  
ひ原迄三リ八丁  
此所泊りはたご二而  
五拾文つつやないずより  
ひ原迄拾壺り越  
十五日ひ原より山難所道  
米沢町迄六リ半  
□□□□□  
此所二而昼食是より永居  
迄三リ半此所二永居□  
□高山りんじ横並観音様  
御堂並かねつき堂  
有□晚□御無並  
いき小う志をうの  
御はか所有享保十六年  
之□也此□き小う□  
之願主度観音堂かね□  
つきどう立つ□此下□  
□泊りはたご二而三十文  
つゝ□斗ニ而此所立十六  
ひみえものヲ致是より  
あかへ迄三リ是より  
川で迄壺り半  
是より中山迄三リ  
此所昼食是より上之山迄  
壺り半是より山方迄  
式り此所泊りはたご  
八十文山方  
大蔵院□□□□

□□□□□屋かぞう  
□之所泊り十七日  
山方よりでんどう迄  
三リ半是より六田町昼食  
迄式り半是より  
大石田迄四リ半  
大井志太松や三郎□  
所二加□□そこにて  
三十文つゝ出し並  
礼ちん九拾文ツゝ  
二口合百廿文ツゝ出し  
是より志水へ六リ  
うんちん七十文  
古口へ三リ半□□  
はたこ三十文ツゝ  
此所へ四拾八滝  
有つ川へ三リ  
是よりくがへ  
かり川へ壺り半  
ふりとへ式り半  
此所ニ山先達□所  
山方八日町宿  
志和たかつへ先達□  
□んきをし房落  
寺是より羽黒山  
之房二付十八日  
羽黒山別当いさなぎ山  
若王寺所泊り  
参り所多く御座候

先達純京房へ昼二付  
弁当遣それ共ニ金壹分  
内百文返りニて三山  
之内渡申候十九日廿日ニ  
羽ぐろの房より御山ニ入  
廿日ニ志づ江罷出候  
志づより水沢迄三リ  
半此所泊りはたご  
六拾文廿二日立水沢  
より白岩町迄三リ  
是よりさかう迄壹リ  
半是より  
山方迄四リ半  
此所泊り八拾文つゝ  
廿三日山方より上  
之山迄弍リ半  
上之山より ゆのげ弍リ八丁  
ゆのげより ゆの原へ三リ拾弍丁  
ゆの原より 峠田へ廿八丁  
とうげ田より なめつへ壹リ拾丁  
□□はたご  
なめつ泊り三拾文  
なめつより 関迄壹リ半  
せきより 渡らせへ弍リ  
わたらせより □□□  
此間とび不動様有壹リ  
□□□□ 下戸沢へ壹リ  
上戸沢より 小さかへ  
小さか昼食壹リ半

小さかより かうりへ壹リ  
かうりより せ之上へ  
壹リ四丁  
□□□ニ泊り □□□□  
上之也より 福嶋弍リ八丁  
福嶋より 志みづへ壹リ廿弍  
志みづより 八丁目へ壹リ半  
八丁目より 日本松へ弍リ八丁  
日本松より 杉田へ壹リ  
杉田より 本宮へ壹リ半  
□□□昼弁当  
本宮より かうり山へ弍リ廿五丁  
かうり山より 福原へ廿八丁  
福原より ひ之で山壹リ半  
ひ之出山より ささ川十丁  
十八丁  
ささ川より すか川壹リ廿八丁  
泊り三拾七文  
すか川より やふきへ弍リ半  
やふきより 中留新田へ八丁  
新田より 小田川へ弍リ  
小田川より 白川へ壹リ廿八丁  
尚弁当  
白川より 白さか壹リ三十三丁  
白さかより 足野へ三リ八丁  
すか川より 足野十三リ半  
足野より なべかけへ三リ  
岡□泊り 三十五文  
なべかけより 大田原へ三リ

大田原より 作山へ壱り廿八丁  
作山より きつれ川へ三丁  
きつれ川より 宇じへ壱り  
宇じへより 白沢へ壱り  
白沢より 内宮へ壱り廿八丁  
内宮より すゞめ宮へ壱り壱丁  
すゞめ宮より 石橋へ壱り廿三丁  
石橋より 小がねいへ三丁半  
小がねいより 新田へ廿九丁  
新田より 小山へ壱り拾丁  
小山より まゝ田へ壱り廿四丁  
まゝ田より のぎへ壱り廿丁  
のぎより 小がへ廿五丁  
こがより 栗橋へ壱り半

覚

七月十二日

金貳分□□成済

七月三日

金壹分未懸済

米八舛五合代

米代

四百九拾壱文済

貳百廿三文 出銭済

永七拾六文壱分

残而四百文済

七月廿四日 六百文

七月廿四日 三百文

佐兵衛  
同人  
太郎右衛門  
同人

七月十二日

百八拾文

太郎衛門

名主 同人

七拾六文

新五左衛門

三本木 同人

貳百文

長五郎

同人

父

秩坂東順礼為

秩□ 蘭二世

蘭安兵衛

●所々参詣中手控(岩崎家文書 No.1234)

(表紙)

天保十亥年

所々参詣中手控

三月より

拝□

文次郎

藤吉

廿二日出立

一鷲宮

休ミ

一加須町

昼食

一不動尊

参詣

一羽生町

休ミ

休ミ

中条葛和田北河原

有リ

一妻沼

扇屋泊リ

是より本庄迄在郷斗  
有リ妻沼より五里  
一本庄 昼食  
此間ニ神奈川上野武蔵境也  
本庄より式里  
一新町  
此間烏川  
新町より壱り半  
一倉賀野  
一高崎壱り半  
中程右側 泊リ  
新旅籠や  
三リ  
一白岩観音  
此間ニ三橋町ト申有リ  
角ニ而弁当遣う 式リ  
一水沢飯茶や泊リ屋共  
三四軒有リ  
一伊香保 岸□左衛門□内門の  
隣ニ泊リ 式リ半  
一榛名山 三リ  
一三ノ倉 丸屋泊リ 二リ  
式軒茶屋  
此間 有リ  
三軒茶屋  
尤泊リ屋兼

一松井田 中程ニ而横町有  
弁当  
一妙義山 やすみ 壱リ  
三リ  
一一ノ宮 やすみ  
壱リ  
遠木泊リ  
一富岡  
此間ニ而山名江廻リ 二リ  
壱り也  
一吉井 二リ余  
一鬼石 壱り余  
一秩父三拾四番  
此所境内之茶屋江泊リ 二リ余  
一同三拾三番 二リ二十丁  
同  
一同三拾式番  
是ハ別而景山般若船  
有リ  
二リ廿五丁  
一同三拾老ばん  
鷲窟山万人講帳面を頼  
三リ  
一贄川 磯田佐太郎泊リ  
是所より林鹿迄二里

- 佐山江五十二丁上ル
- 尤四五ヶ所休所有リ
- 一三峯山 泊リ
- 二リ余難所
- 大日向山
- 一鬚僧様
- 二リ余
- 一三十番ニ而昼食茶や
- 式軒有リ
- 一廿九番
- 一廿八番□
- 一廿七番
- 一廿六番 相応之泊屋
- 三四軒有リ
- 一廿五番
- 一廿四番 □□屋仙二郎泊リ
- 一廿三番
- 一廿貳番
- 一廿壹番
- 一廿番
- 一拾九番
- 一拾八番
- 一拾七番 四番観音切奉□有リ
- 一拾五番
- 一拾四番 清水屋甚八昼食
- 一拾三番
- 一拾貳番
- 一十一番
- 一十番

- 一九番
- 一八番
- 一七番
- 一六番
- 一五番
- 一四ばん
- 一三ばん
- 一貳番
- 同□□
- 同宿は泊リ
- 一壹番 宇□は酒□□
- 家□□□ニ而
- いたし
- 利鹿□□
- 衆付
- 一松山 泊リ
- 一よしみ
- 一鴻巢 泊リ
- 一篠津村迄

信州埴科郡坂木品之町長  
勇次郎

●道中日記覚 (折原家文書 No. 118)

(表紙)

天保十二丑年

正月廿五日

道中日記覚



百間源太宿  
折原清次郎⑨

正月廿五日

瓦曾根中屋五郎左衛門昼食

馬喰丁三丁目庄内屋半兵衛 泊

江戸日本橋より

此間ニ不入斗村 昼食

品川江二り 品川より

廿六日

川崎江二り半川崎宿小富士屋泊

川崎より神奈川江二り半神奈川より

程ヶ谷江一り九丁程ヶ谷より戸塚迄二り九丁

廿七日

戸塚宿本舗鎌倉屋安左衛門泊

戸塚より藤沢江一り三十丁藤沢より平塚江三り半

此所馬入川渡舟賃十五文

平塚宿大坂屋昼飯平塚より大磯迄廿六丁

大磯より小田原宿迄四り小田原宿泊

廿八日

小田原中程之小清水屋伊兵衛

小田原城主大久保仙丸 十一万三千百三十石

畑村此所箱根之湯有り

箱根権現寺金剛山金剛院東福寺寺領三百石

曾我五郎六郎舟遊さん網起石あり

御関所茶屋者左右ニあり同番之茶屋

万屋甚左衛門昼食

廿九日

箱根より三嶋宿江三り廿八丁

竹屋 伊助泊

頼朝公名馬の爪跡あり鍮つき石あり

鍬ニ而右之石をニツ割箱根山ハ二ツ子山見ゆる

富士の牧伝之湯の花釜あり

三島より沼津江一り半

甲石坂富士見□□明神八幡宮弁才天

社領五百石

沼津より原江一り半

水野出羽守御城有り

山王宮有り左り富士見ゆる

原より吉原江三り六丁

浮嶋の原三り富士山面也

吉原より蒲原江二り三十丁

元市塚不じ川舟 十六文

蒲原より由井江一り由井川あり

さくた峠道中無双也

由井より興津江二り十二丁

正月一日

由井宿吉田屋泊

興津より江尻一り三丁

三のぶ山江十三り清見寺愛染川左り

三保松原江尻より府中江二り廿七丁

是より久野山江廻り有渡郡村松郷久野寺

龍華寺

龍花寺の蘇鉄丸サ四尺五寸 景也

枝四拾八枝

久野山江參詣定府伊左衛門茶屋案内

関所江手形差上

府中矢畑八幡宮御朱印三百石

二日

府中宿由津屋善兵衛泊

府中より丸子江一リ半府中仙元大菩薩

名古ヤ大明神家康公

宇津や峠此所とう団子名物也 大坂一礼之時

安部川舟廿四文

丸子より岡部江二リ葛屋昼

城主松平伯耆守城

岡部より藤枝江 一リ廿九丁

瀬戸川有り

藤枝より鳴田江 一リ 六拾四文式人払

大井川舟 百三拾六文

鳴田より金谷江 一リ廿九丁

菊川姫あり坂あり

金谷より日坂江 一リ廿九丁

日坂峠夜鳴石

茶屋

正月四日

日坂宿葛屋利兵衛泊

日坂より掛川江一リ廿九丁

太田備後守御城

是より秋葉鳳来寺廻り此所四十八瀬川有り

正月五日

三倉村泊問屋庄右衛門

秋葉山 此所二五拾間の普請こ屋

燈籠の数しれつ秋葉山よりとくらへ下ル

正月六日

石打村泊森下屋勘藏泊

熊村江二リ半熊村より神澤村江一リ半神澤村より

大平村江一リ大平村より巢山村江一リ半大野村江一リ半  
中豊川舟十五文

七日

新城泊 扇屋泊

是より御油へ出ル五リ城

御油より十六丁赤坂江赤坂より藤川江二リ九丁

藤川より岡崎江一リ半

八日

岡崎宿泊大津屋泊

此所大橋式百八門八ツ橋古跡

桶狭間合戦有り城主本多中務大輔

岡崎より池鯉鮒江三リ三十丁ちりうより鳴見江二リ三十丁

此間有松しぼり出ル

九日

鳴見より宮迄一リ宮宿美濃屋七左衛門泊

此よりあつた明神神楽殿八甫句の染あり

宮より津嶋江五リ津嶋より沙屋宿江十八丁

此所天皇一ノ鳥居江沙や宿引罷出ル

沙や宿より桑名宿迄舟賃廿九文舟屋三十式文

沙や美濃屋より出ル

十日

桑名宿扇屋泊桑名より四日市江

御城あり 三リ八丁

四日市より神部江三リ神部より白子江一リ半

十一日

白子や白子のふたん桜あり

白子より上野江一リ半

上野より津江二リ半津ノ藤枝町門ノ茶屋

津より雲津江二リ雲津より松坂江二リ

此間出雲川有り 十四文 川あり

十二日

松坂より一りくし田泊川あり十四文

くしだもみぢや泊

稲木川あり十四文

くし田より小俣江三り

是より伊勢外宮一り半

宮川江龍太夫茶屋向是より籠駕二而

二見川江廻り此所塩合川

案内 前田喜兵衛手代

市郎兵衛殿同道

伊勢川崎町を通ル

同十三日

代々神楽執行まひこ廿人斗り

同十四日

朝熊兵江参詣

内宮太神宮

外宮大神宮

天野岩戸

同十五日龍太夫より出立

宮川より田丸江一り半田丸より原ノ大辻江一り半

田丸御城主久野丹波守紀州御家老高一万石

原より大風村江一り入口順礼手引観音有り

大風村より栃原へ一り半此処少し行て栃原村中ニ

無量 山千福寺順礼手引観音

聖徳太子の御作なり

栃原より河尾江一り半此間小坂有り川あり

三世村舟渡シ十五文

河尾より三世江一りより野尻江一り此処瀧原

大神宮末社多し  
通被にて挨なし

十六日

野尻中程ニ而瀧原御師北野藤大夫泊百五拾文

野尻より阿曾江一り阿曾より柏野江一り此間ニ西ニ川有り  
大水の時左江廻ル

柏野より崎村江半り崎村より此間ニ前後川有り

崎村より駒村江半り駒村より間弓江一り

間弓より大津江半り此所小川有り大津より

梅ヶ谷半り梅ヶ谷より長嶋へ半り川有り

長嶋より三浦江一り三浦より馬瀬江へ二り

十七日

此間ニ船津村長原藤助泊百式拾四文

昏本より尾鷲江一り半此処川有り間越坂

峠ニ茶屋有り

尾鷲より三鬼江一り半 此処半り斗行浜村川有舟也

是より八鬼山ニ懸り上り五十丁一丁目ニ石杭あり四十五丁目

山伏寺有り□□三宝大名神ナリ是迄殊の外

難所也

三鬼より曾根江三り是より曾根へ入海有り是より

舟乗てよし壺人前三拾式文ナリ

曾根より二鬼島江二り此間に曾根二郎そね太郎坂あり

十七日 尤一坂ナリ

二木嶋村泊佐倉屋喜重郎泊

二鬼嶋より新鹿江一り八丁新鹿より葉田須江一り

此間宿なし坂あり

葉田須より大泊りへ一り大泊より木本江二り

此所宿湊町屋宜し出口ニ川有り木ノ本峠左の

浜北魔を見ゆる嶋あり坂の下口ニ木ノ本宿松並木

見渡シ七リ浜風景よろし此処鬼の岩や見ゆる  
芝竹多くあり

木ノ本より有馬江半リ

此所町やよし出口川あり風雨ニ而八浪間ヲ渡ル

新宮江一坂なし東の海中ニ鬼カ岩見ゆる

右ニ二王岩大岩ナリ次大般若あり殊ニ十丈斗真黒也

次ニ花の岩あり年々二月二日祭礼なり

有馬より阿多八江半リ此所七リ浜十丁斗り行ハ

右八本宮左八新宮

此所親子しらすなみうつ

十八日

あ多八より新宮江ニリ半新宮綿屋佐兵衛泊

此所新宮入口ニ鳴川あり此所御番所舟渡シ舟賃三拾六文

新宮御城主水野対馬守三万石ナリ

紀州御家老ナリ

新宮より三輪崎江一リ

新宮本社屋向ニ向伊勢□□伊勢国常□大神宮

熊野三社之内山役せん式拾四文

三輪崎より宇久井江一リ此間ニ久みの浜あり

なち墨の基石出ル

宇久井より浜宮江五十丁

是より那知山迄百丁之間宿なし壁ひ行暮れ難洪ニ

及でも宿せるものなし或ハ病人足痛み歩行難洪人ハ

国所を尋ね其所より病坊へ届くれ駕印来ル如此

厳重なり此間大ぐし小ぐし峠難洪なり

浜宮より那智山江五十丁此所浜の宮三社大権現補陀洛山

本尊千手観音という那知山

光行上人灌よりいのり出ルのにゑんぶだごん御仏なり

此瀧三国のたきなり

那知山より小口江四リ

閏正月十九日

西国三拾三所第一番

紀伊国熊野那知山青厳渡寺

堂五間四面辰巳向当山如意輪坊三十六坊之外

宿なし七ツ時より八宿かるべし納経八年番より出ス

武蔵国上野国坊実坊院

山役銭百式拾四文そふめん酒ニ而出ス同案内も出ス

夫より大蜘蛛坂二十五丁目ニ茶屋有り

十九日

小口入口泊小口より小蜘蛛此処川渡シ

請川江三リ二女川有り請川より本宮江十八丁

本宮熊野三社之内御師寺尾蔵太夫

馬札有之但し一前三文 十八人ニ而房入式朱酒吸物出ル

本宮より湯の峯江廿五丁十九日湯の峯泊

此所二重の塔飛脚其五郎作湯ハ小栗はん丸湯有り

並湯せん六文小栗の湯式拾四文

湯ハ川よりわき出ル又小栗の湯薬師の峯より出ル

湯の峯泊より湯川江ニリ半湯川より野中江ニリ

岩上峠五十丁男坂といふ上下ニ宮あり熊瀬川有り

茶屋あり

野中より近露江三十丁此所秀平桜あり野中の

近露より高原江二リ十一丁川あり柏峠花山院

経塚あり大坂峠茶屋有り

十丈峠

高原泊大屋松五郎此所宿や六軒なん

高原より芝江半リ下り坂也芝より上三柄へ一リ半

此所塩見峠上り峠ニ赤金山なまり山下り而

牛がなきとふ石あり

城主安藤帶刀三万五千

上三柄より田辺江一り半紀州御家老

此所武蔵坊弁慶誕生の処なり力餅也

田辺より三辺江二り三辺より切辺江二り

此所二川有 舟ちん四拾八文

廿日

切辺より稲並江半り稲並中程泊

草子屋宇右衛門泊

日高川舟渡三十式文

此所さ無地の橋古橋也十三塚清姫ぞをり塚

衣掛柳夫より金巻村道成寺江参詣

蛇塚田中ニあり安珠塚寺境内あり半鐘とけしまし

稲並より小松原江三り小松原より原谷江二り

文武天皇の勅願所大宝元年ニ建安珍清姫の事ハ

醍醐天皇延長六年子ノ八月也本堂ニ縁起有り

原谷より井関江二り鹿カ瀬峠上下一り峠ニ

茶屋あり出口ニ川あり

井関より湯浅江一り此村も長し川あり

廿一日

湯浅泊綿屋利助泊

宮原より鴨谷江一り半

此所紀州名物みかん沢山ナリかぶら坂上下

峠ニ宿四五軒又弘法大師爪書之地蔵あり

鴨谷より藤代江一り半

此所藤代峠三十丁峠ニ地藏尊開山あり御所の

芝といふ西ニ淡路島此ニ和哥山の浦紀三井寺

皆一眼見ゆるなり  
藤代より紀三井寺江一り半

此所藤白権現大社のかた原ニ楠の下ニ 亀井二郎

鈴木三郎石塔あり東ニ屋敷跡あり夫より

黒井村膳椀沢山出来候なり

二番同海土郡紀三井寺

金剛峯寺真言宗下寺七ヶ寺

本堂南向九間四面寺領二十石

是より若の浦江舟乗り舟十八文舟の義者

弁天の前ニ着拜殿海ニ出ル木もく石あり

亀石ありいもせ山也玉津嶋明神社小町程

すり堀布引松あり塩かま明神龍籠の松

前年七月九日海中より上ル

東照宮参詣日光の御橋の写ナリ

橋の側弁才天和哥の天満宮夫より若山江趣

五百羅かん次ニ我葉山亀石あり和哥山より八軒村江一り

八軒村より馬次江一り半松原長し

廿二日金井屋次郎八泊

馬次より岩手江一り 有田川

此所舟渡御番所舟賃廿文

両方ニ町あり岩手より粉川江二り半

三番同国那賀郡風猛山粉川寺

天台宗寺領百二十石下寺廿一軒堂八十五軒四面也

南向也夫より高野山キ趣川あり舟賃廿二文

志賀江二り志賀より花坂江二り

此所峠あり茶屋有り式十八丁上り

花坂村門芝坊明王院取次所是より

案内衣沙掛石ありねぢ石あり□□あけ石あり

鏡石あり花坂より大門江五十八丁峠ナリ

閏正月廿五日芝坊ニ着  
廿六日

高野山奥院参詣致案内出ス

大名二百六十大名不残石塔あり

むみしのはし蛇柳おくの玉川

すかた見の鏡木食堂あせかき地藏

廿九日天

四番和泉国槇尾山施福寺

天台宗寺七ヶ寺堂七間四面南向

弘法大師剃髮之寺ナリ是より

信田森

廿九日晚天

泉州堺町河内屋友七泊

住吉一宿跡門奥院かがみ天野小西松

妙国寺蘓鉄てぼううつ大和はし

なにわやの松住吉四社明神鳴津短生石

天下茶や施茶是ハ松下嘉兵衛跡秀吉より

信田の森葛葉稲荷江三十丁廻り大鳥一ノ宮

閏正月晦日晚天

撰津国大坂長堀町

式文目

平野屋佐七泊

案内賃百貳拾四文

難波池善光如来元祖ナリ西本がん寺

東本願寺天満橋秀吉御城ナリ

二月一日より高津宮いく玉の宮新清水寺

一心寺四天王寺小ほう口平野川江老り半

五番河内国葛井寺参詣

二月一日

天王寺五重塔上り代拾六文道明寺天満宮

こんだ八幡壺井八幡通法寺

源朝義公源義信公源義家公石塔

墓印松十リ上ノたいし山田より此所岩越

行十リ峠ノ上ニ岩やニ中将姫ノ古跡ナリ下十五丁ナリ

夫より左江ト行ハ染井寺江染物ノ井戸是より

多江摩寺江中将姫剃髮所ナリ門マンダラアリ

開帳百貳十文ニ而致ナリ

多ひま寺門前ニ而

二月一日晩天

玉屋徳兵衛泊

百七拾貳文

たいまより新庄江一リ新庄より御所江一リ

御所より土佐江二リ土佐城主植村駿河守

土佐より赤坂江十八丁

二日九ツ時

六番高市郡壺坂山

南法花寺

奥院三丁弘法大師三国土ヲ以作ナリ

是より吉野江一丁下ル左江十五丁下ル

腰部村前田氏千寿院ト号ス是より蛇尼助

百文ニ付六匁位

此処唐銅大鳥井あり宿屋多し

吉野山金剛山寺御朱印千石下寺百ヶ寺

本堂大堂ナリつゝじのはし壺本有り

本尊蔵王権現夫より二丁程行吉水院

此処義経駒つなぎ松次ニ義経駒の足あと

弁慶石ニ金釘を打ル石あり義経陣太鼓

の金輪あり色々旧石多し

是より上市村より多武峯江三リ

難所の峠ナリ

多武峯大正館鎌足公建立ナリ

御朱印三千石

十三のとふあり門石碑あり大和国の日光なり  
是より式丁下ル

二月二日 大坂新助泊

百六拾四文

七番大和国高市郡東光山

岡寺

真言宗寺□寺ナリ寺領式十石

是より桜井江一リ半此処より少し行鳥飛

大神宮八十末社あり夫より天のかく山左見へる

夫より安部文珍あり桜井より追分江十八丁

追分より長谷江一リ八丁

八番同城上郡豊山長谷寺

真言宗新儀御朱印五百石堂七間四面

宿坊六拾間

追分より壱リ八丁打戻ナリ

追分より三輪江一リ三輪より柳本へ一リ

此所三輪明神大鳥井あり三輪そうめん江  
よるべからず

柳本より丹波市へ一リ

三日

丹波市泊吉野屋弥市郎泊

百五十文

丹波法龍寺江廻り夫より

法龍寺より小泉江一リ小泉より郡山江一リ

大和国郡山城主松平甲斐守十五万石

郡山より奈良一リ半是より西の京江廻り

奈良名所多し春日大明神大仏

鹿の角細工あり

九番大和国奈良興福寺南園堂四日の参詣

猿沢池片側町二而

四日

奈良小田屋善助泊案内出ル

式百式十文

南大門の跡さる沢の池の上十リ此芝二而毎年二月能あり

たきぎの能といふ同衣かけ柳あり

兒観音池の東ニあり元興寺ナシ五重の塔

一ノ宮祇園榎の命 四ノ宮姫太命

二ノ宮磐王命 此外末社多し

三ノ宮天児屋根命

若宮八幡山ウシロナリ午向山のウシロ云フ

五日

宇治大ばく山前阿浜屋泊

百四十八文

十番山城国宇治郡明星山

三室戸寺 五日参詣

三室戸より黄檗山万福寺江半リ本山ナリ

十一番山城国宇治郡深雪山当山女人キンセイ  
上ノ醍醐寺

是より岩間江掛ぬけナリ

十二番近江国瀬田郡岩間山

正法寺

当山者十二丁上リナリ

五六上テ峠アリ下リ坂より湖水面白ク見ゆる

竹生嶋長命寺ハ 遥ニ大津ノ町膳所ノ城主

中山道二而 眼下ニ見上ル 本多下総守六万石

守山ト武佐宿立場かがみ

六日

辻伝石衛門泊

是より札逆打ナリ 百六十四文

三十二番観音寺打ナリ夫より舟道あり

陸地ヲ廻江州日野八幡宮ニリハマシより

三十一番近江国蒲生郡

姨崎那山長命寺天台宗 長命寺江一リ

長命寺より舟ニ而大津迄一船老分老朱

拾三人老人ニ付百五拾八文誠ニ景色ナリ

大津町ニ而札場八丁中処

七日

丸屋金六泊

十四番 式百文

近江国長峯山南陀大津三井寺

夫より右ニ二町斗リ下ル武蔵坊弁慶の引釣金

イボラ引スリヌ女の鏡跡あり夫より

比叡山江廻り山王二十二社の末社ナリ五十丁斗リ

上り扇の相ニ見ゆるナリきし堂あり参詣所

数多ありそうりんのとうあり夫より

京都江下ル今出川江下ル

比叡山延暦寺申ス

京都三條通六角堂前

八日晚 餅屋宗左衛門泊

式百文

十一面観音

同十五今熊野観音寺

十五今熊野観音寺

山城国十九番京草堂行願寺千手観音

同十八六角堂頂法寺如意観音

同十六音羽山清水寺千手観音同十七普門院六波羅密寺

二條御殿北の天神おむろ御所嵯峨御所

川あり

愛后山江三リ五十丁坂龜山松平紀伊守御宿

十日

龜山泊舁屋五右衛門泊百六拾四文

夫より廿丁斗リ丹後国桑田郡

廿一番穴太寺正観世音ナリ夫より

善峯寺江四リ

山城国乙訓郡善峯寺

千手観世音ナリ

よし峯より外のはた江一リ半宿ナシ

外のはたよりさぶ谷一リさぶ谷より中山江一リ

中山より穴生

廿一番丹波国桑田郡穴穂寺

天台宗寺一軒堂南向八間四面文政十亥年

八百六十年ナリ

同十一日

そうし寺泊門前ニ而

石屋与左衛門泊

百六十四文

廿二番撰津国嶋下郡補陀洛山

惣持寺天台宗堂五間四面

本尊千手観世音ナリ

廿三番同 同郡応頂山勝尾寺

廿四番同河辺郡紫雲山中山寺

同十二日 天台宗堂五間四面聖徳太子の御作ナリ



西の宮泊

米屋伊助泊

百五十文

西の宮大神宮十リより茨住吉江二リ八丁

此所より摩那山へ五十丁廻り日本一の摩利四天ナリ

布引繩生田大神宮梶原の井

多びら梅湊川楠石塔一丁の廻り兵庫江三リ

つきじ嶋中程より清盛の石塔十三の神石塔

四王丁の廻りすま寺江五十丁すま寺

青葉の笛漢行笛若の梅ナリ

神宮こうこの駒竹あり源義経腰掛り松

いくさの時釣金あり夫より一の谷迄十丁

敦盛の石塔あり同そばやあり

舞子浜向阿波嶋見ゆる夫より

明石の人丸の社あり是ハ禁裏御所

明石の宿はつれ

同十三日 いはいぬき

小得源兵衛泊

百六十文

高砂迄五リ此間ニ長池より住吉の

手口くら松夫より尾の上松三代目の松

同京の片枝松高砂の前ニ川あり

拾二文高砂町ニ南本町つりやより

金比羅出船のよし

九ツ時

二月十四日金比羅出船

此内蒲団代壺文斗

役所五文

十六日四ツ時之着

四国丸亀ニ而網屋為次郎

十六日八時より□津村より一リ伊予谷江掛夫より

善通寺江金比羅山参り御守壺匁式分

箱代七拾三文

境内中程右側

十六日

余嶋屋泊吉右衛門

式十匁

一十七日雨丸亀九ツ時着網屋為次郎

方旗籠百七拾式文内廿五文役入用ナリ

十八日九ツ時赤穂江付ル夫より赤穂の城主

毛利信濃守犬四拾七人の義士石碑

同木妻有り東西ニ式拾四人式拾三人ニ別ル

大石内蔵助同主税兩人を大将の妻ナル

冷光院殿下号ス寺ハ加賀久寺ト申

名加銭壺人分ニ拾文ツツ船頭ニ祝義ト而

金壺朱是ハ壺人ニ付式拾三文ツツ船賃

三拾式文川渡シ

赤穂より正条江四リ播洲往還

十八日亀屋伝右衛門泊百四十八文

十九日正条川十六文阿曾川三拾式文渡シ

相生山より書写山江一リ半十八丁ノ上下ナリ

姫路江一リ川渡十六文姫路正の門より

中ニ替町橋屋ト申革細工処夫より

東の門江出ル一川三拾式文渡シ

廿七番播摩国書写山江五リ

八百石御朱印

廿六番同法花山江四リ

十九日

法花山より一リ笠原村播籠や泊

百五十文

夫より一リ半瀧の川野宮渡十文

馬瀬村江五リ馬瀬村角屋源右衛門昼飯

是より廿五番清水寺三十丁

清水より市原江一リ市原より古市江二リ

古市より追入江三リ

廿日追入村中程吉玆屋吉右衛門泊

百五十文

峠あり上り十八丁下り三十丁夫よりこくりう江一リ半

丹波国福知山朽木近江守二万石

廿一日外宮角米屋久次郎泊百四十文

丹後国宮津松平伯耆守六万石

外宮より内宮迄半リ内宮より仏正村江一リ半

仏正村ニ而加みや宇右衛門ニ而千葉原ニ

大江山酒呑童子由来金屏風ニ而拜見

開帳せん六文夫より宮津江二リ半

町中程角ニ而左兵衛休宮津より成相寺江二リ

其間切戸文殊同天ノ橋立明神

是船渡六文上下とも

廿八番丹後国成相寺江十八丁登

難所也

同宮津江下ル

百八十文

二月廿二日晚宮津宿処屋勘六泊

山桜花よりしひに

雲もなし

いつつや文蔵

十二才

宮津より軍田へ二リ此所舟あれども乗事無用

軍田より由来へ一リ半此所山庄太夫首引の松

是迄ハ七廻り力ハ峠の坂難所ナリ由来より

中山へ一リ半三庄太夫跡次ニ音無川四文渡シ

中山より田辺江二リ

田辺城主牧野山城守高三万石

田辺より市場江二リ半市場より松尾江二リ

二月廿三日参詣

廿九番丹後国加佐郡青葉山松尾寺

寺領廿一石真言宗

松尾寺の二丁斗り下り桜本坊百五文

松尾より鷹原江二リ鷹原より本郷江二リ

本郷宿松屋甚兵衛昼休仕

本郷より小浜江三リ若州小浜城主

酒井若狭守高十一万石

此所入口ニ神明山謂ル山ニ八百姫宮アリ二丁斗り廻り

廿四日夜

遠敷江一リ此所□□屋忠左衛門泊

百五十文

遠敷ニ而めのう玉出ルナリ

遠敷より熊川江三リ半熊川より山中江一リ

山中御番所あり

今津江着宿ちん十六文

舟賃百弍十文乗合二月廿五日七ツ時出ル

竹生嶋参上舟ちん中ニ而十弍文舟至

近江国長浜泊

長浜宿稻荷町

墨屋儀兵衛百七拾弍文

是より米原至二リ半

米原宿二而北村源十郎江京都より

荷物送り蔵支払十文

米原より番場江一リ番場よりさめかい一リ

鮫ヶ谷より柏原一リ柏原より今須江一リ

関ヶ原江一リ半関ヶ原より垂見一リ十二丁

廿六日

垂見のふじや泊百五十文

美濃近江国境ねもの語り

垂見より赤坂江一リ半赤坂より谷汲

五リ此所川渡シ三ツ拾八文ナリ

谷汲山廿七日五ツ時参詣夫より

阿み太子江三リ阿み太子泊

二月廿八日天

義府屋利兵衛泊

百五十文

義府江二リ名鍛治金花山の鍛治屋

東本願寺西本願寺加籠細工

大仏あり丈五丈老尺大仏ナリ

夫より加納江一リ加納より鶴沼江四リ廿丁

鶴沼より太田江二リ川渡し三拾六文

太田より伏見江二リ伏見より三嶽江一リ五丁

二月廿八日泊

御嶽宿万屋幸右衛門泊百五十文

大工江三リ大工江より細工テ一リ三十丁

細工テより大井江三リ半是より十三峠マデ

七ツ坂中津川江二リ落合江一リ十石峠

此中程二而美濃信濃国境馬籠一リ五丁

廿九日雨

馬籠宿土屋市左衛門泊

百三拾貳文

妻籠二リ三トノ江二リ半三トノより野尻江二リ半

野尻より須原江一リ三十丁須原より上松江

三リ九丁二リ半斗リ行て各の瀧より十丁斗リ

行て福嶋太郎古跡

木曾名物角蕎麦や休

十丁斗リ行て□の古跡あり

□や命も

芭蕉跡

からん葛かつら

上松より福島江二リ半

天

三月一日福島宿本町

宝来屋又七泊

百五十文

二日逗留仕候

福島宿御関所あり宮越江二リ

藪原江一リ五丁奈良井江二リ贄川江二リ

雨

三月二日贄川宿松屋伊助泊

百六十文

贄川より本山江二リ本山より洗馬江三十丁

追分あり郷原江一リ半郷原より松本江一リ半

信州松本宿松平丹波守城主六万石

万年屋昼飯松本より岡田江一リ半

岡田より刈谷原江一リ半刈谷原より

会田江一リ

三月三日

会田宿御本陣横内佐次兵衛泊

百四十八文

龍田峠上下一リ半

〇番場峠上下三リ半リ斗リ下り而

姥すて山川中嶋合戦跡あり

丹波川川渡シ舟役所江廿九文

かこ越拾貳文

信州善光寺二王門百五十文拾六文弁当

三月四日富士屋平五郎泊

皆檀廻り六文御影御手本廿四文

血散着代七拾貳文大笹通り

善光寺より一リまめ嶋渡シ四十四文

保品斜江三リ茶屋昼飯是より難所の

坂ナリ保品斜より大明神江三リ大明神より

中ノ茶屋江半リ中ノ茶屋四分津江二リ

三月五日泊四分津村丸屋岩吉泊

田代江二リ榎屋休 百六十四文

田代より大笹江一リ半笹屋九郎兵衛昼飯

信州上州国境大笹宿御関所

但シ夜昼とも貳百文

茶代老朱

三月六日

上州草津瀧下 湯本安兵衛着

同七日八日の湯金貳朱百七拾五文ツツ

三月九日草津出立より

長原宿江三リ山口屋昼飯

長原より

大戸宿御関所あり

同恵比屋泊百六拾四文

榛名山江三リ山道難渋ナリ

不動橋掛石岩下り一ノ鳥居迄三十六丁

室田宿迄二リ廿丁昼飯室田や

高崎迄四リ八丁スケ

三月十日

高崎本町老丁目栄屋林兵衛泊

三月十日

本庄宿小松屋二而休

三月十一日

深谷宿二而多びや昼飯

三月十一日

行田宿下町鈴木清吉泊

貳百文

茶代貳百文

騎西町江三リ久喜町江三リ

久喜本町高田伝兵衛休

●道中日記帳 (折原家文書 No. 313)

(表紙)

弘化三年

道中日記帳

丙午六月吉日

六月十八日

篠津村二リ菖蒲町七リ休四十文

持田村休三拾六文拾六文わらじ

熊ヶ谷ふせた半蔵江泊貳百三拾貳文

渡し

深谷宿二り廿九丁小山川左右而式拾四文  
本庄宿昼飯百文三拾式文休三拾四文わらじ  
鳥川神奈川八丁渡し百文玉村江一り半  
双越参り玉村より半り亥の川三拾式文渡し  
玉村ニ女郎屋あり是より一り倉鹿の宿 中程

十九日夜

左側堀口八左衛門式百四拾八文泊高崎江一り半  
白岩山江二り長谷寺当寺□□四ヶ寺是より  
水沢江三り箕輪村西明屋村富岡村原山村□川あり  
四拾八文油紙代式拾八文わらじ式拾四文休峯林村

廿

四拾四文昼飯拾六文休伊香保村岸六右衛門  
式百六拾四文五町田江下り二り休三十六文  
新巻村三十式文万年橋四り横谷休五十六文  
河原畑式百式拾四文長ノ原二り四十八文三澤三十文  
草津墨若忠右衛門百拾七番泊三百文旅籠代  
百文少□四分峠上り三り茶屋あり信州上州  
国境なり四り下りなり四分湯中野江一り半

六月廿三日

中屋長右衛門泊式百文浅野江二り荒町江二り  
善光寺江参詣中院迄四り茶屋あり  
七拾八文拾五文四十五丁目石鳥井あり二王門前ニ  
萬屋泊式百文越後海道野尻宿江出ル  
是六り下り左□江登いる関川宿一り  
信州越後国境御関所あり手形いらづ  
三り関山江此間尔□□起りこれきり峠あり

廿五日

関山宿本陣又左衛門泊式百文此間一り  
妙高山有り明樹岩出ル二本木宿江一り十六丁

荒井町江二り高田宿江二り榊原式部大輔  
十五万石御城下也中程ニ而木浦屋弥八  
昼飯左ニ登り入る奥州街道加賀道中  
追分ヶあり五智如来江二り此寺  
国分寺なり釈迦如来宝生如来

大日如来薬師如来阿弥陀如来也  
今町江十二丁湊の渡し式拾四文舟賃  
春井町江一り行キ鴻町江二り此所  
塩浜泊り鴻町宿問屋ニ而扇屋

六月廿六日

林左衛門江泊長銭式百文鴻町より  
米山寺村江三り水野江一り寺ニ而休  
是より六十丁登り難洪也峯ニ  
薬師如来是より下り六十丁  
別而難洪也小杉村是より一りの  
峠鯨波江登り奥州道中也  
柏崎江一り半此所桑名城主  
松平越中守出張城五万石あり

廿七日

石地藏前新道屋龍太郎泊り向ニ  
岡井又兵衛とゆふ者なれとも□□□□  
広川渡し六文若浜江一り半  
宮川江一り半椎谷江二十四丁  
浜辺也堀山口寺御陣屋  
石地江二り半

笹本彦次郎支配所

出雲崎江一り半

山田江二り

寺泊江二り泊□□屋式百文

光知法印江一り上り十二丁

弥陀如来堂有リ十二文開帳

□村江一り伊夜彦大明神江廿六丁

越後国一宮五百石御朱印

蒲原宿角屋又蔵休

吉田江一り吉田より三條江三三

此間ニ信州川渡式拾四文

三條より明法寺村江一り同三拾文

百姓庄右衛門□□より火出ル

家式三軒あり□氣次第出ル

明法寺村百姓屋泊

百四拾八文

是より三條江戻ル舟渡し七文ツゝ

二ノ町東御門跡大寺也五之町

錦屋五郎左衛門休昼飯五十文是より

新潟江舟ニ乗ル老人前百五文ツゝ

六月晦日

新潟町古三ノ町玉木屋庄兵衛泊

式百文松か崎江二り半木崎江

二り半此間ニ渡し場四ヶ所

あり老人前百式拾五文舟乗り

木崎迄真野村江三り真野ノ渡し

十五文ツゝ本町江廿丁本町より

築地村江二り築地村赤塚屋

七月朔日

清左衛門泊式百文也大日如来江

二り半砂河原多し岩船宿江三三

舟渡し 廿文ツゝ

此間桃崎塩谷宿立場より四り

左ニ春嶋見□米沢領分

一り半村上内藤紀伊守御城下

高五万石山城ニ而景色宜し

□□舟渡し 十七文

町家な一 一猿沢江二り半

此間ニ舟渡し五文ツゝ

塩ノ町一 一者米沢

御領分塩町よりぶ動江二り

少し峠あり茶屋あり

七月二日

塩町伊勢屋七左衛門泊

百八十文ぶどう峠一り半

大沢江大沢より中村江廿九丁

前松や休新川江十八丁

新川より中つき江一り

中つきより小俣村江一り

小俣村佐藤庄左衛門昼飯

小鍋江廿八丁越後出羽国境也

小国江一り半御関所有り

湯殿山参詣之切手出ル也

木俣江一り半木俣より厚田川江

一り厚田川より菅ノ台迄一り八丁

七月三日栗田屋甚右衛門泊百七拾文

湯田川江三三温水あり是より金峰山江

一り半難波也峰ニ蔵王大権現十八丁□

別当所金剛院山役銭四拾八文御札壺

枚ツゝ但老人前也下□□茶屋佐七休

鶴ヶ岡酒井左衛門尉御城下是より二り酒田

出張之城本田久四郎七兵衛頂戴庄内

一リ舟渡し□□□ツ、羽黒下町  
定

左側一

此間に舟渡し

森一 午坊は廿八丁

羽黒山八丁□□菩薩末社百社

山役銭□金壺分ツ、御札壺枚五文ツ、

坊入之内大札出ル源性坊より案内

道二而月山江参詣いたし竹小屋

御厚守や八郎壺前外壺□拾五文ツ、

峯月山廿壺文ツ、御札壺枚出ル

案内先達四拾文百文十万仏さんせん

八文湯殿山江二り下り装束之湯より

壺里下り難渋也湯殿山御裏ハ

三宝荒神かねのはしご壺町下り

大沢瀧八ヶ所有り三拾文さんせん

右装束之場返ル是迄案内合力

是迄也是より左江入下り三り

志津江本道寺江三り山伏多し

八聖不動尊より五丁下り右江入

入間村泊家屋泊小柳村江一り

ぬくみは一り大沼山江二り半

浮嶋大明神江参詣山役銭

四拾八文別当所より案内出ル

拾式文案内ニ□□浮嶋見物杯

大谷江一りあてら沢江一り半

川渡十五文長崎江二り半

橋本屋舟宿江泊式百文

七月一

半リ一 山寺江

二り半門前より廿四丁旅籠屋二三軒

あり荷物預ケ八丁より出羽

一ノ□山なり案内壺人前拾式文

二口峠ヶ一り平地□□難渋也

峠ニ仙台領堺杭あり一り下り

二軒茶屋旅籠屋あり

三り下り野尻村あり御関所

あり問屋泊七月九日馬場江

二り白沢江一り廿四丁御地在川江廿四丁

八幡堂江一り十二丁八幡堂より

七月十日

国分町江一り福田与八郎泊

原ノ町江廿五丁今市江二り塩釜江

二り三社大明神奥州一ノ宮下り別当

花蓮寺本町ゑびや藤蔵休

松嶋江舟乗壺人百文ツ、酒手廿九文

案内致ス瑞岩寺十三文案内出ス

高カキ江十八丁小野江三り手前二

十一日

鳴す川三拾三文丁子屋忠七泊式百文

矢元江二り半石巻江二り半大港也三文條

ありわたのは江一り半木村屋喜惣兵衛昼飯

金花山出舟小辺六リ□□□松川

肝煎名主与兵衛泊□□□□

山鳥迄四り陸打講金舟出ル船賃

なし八丁登り別当所真言宗

護摩料金壺分半銀式朱出ス山先達

案内出ル一

本庄宿一 一廻り一

白〇や

道越ゆれて

通る旅

四方の

風景見張より

四分峠

難渋いたし

山寺の

腰にのと出而

秋の月

出羽国山寺二而

古きより

光のさびぬ

塩釜

△右江一丁行ふ動明王夫より古石あり

四十丁登龍王権現二丁下り

水精石あり大岩也夫より千人沢江

一り半下り本坊護摩拙主三付

護摩札壹枚ツゝ下ル別当方丈

仁義出ル膳付出ル山鳥の渡し

十五文酒手遣ス相川与兵衛

立寄小口より戻舟わたのは

十三日

廿五文酒手木村屋喜惣兵衛

泊り百八文小野丁子屋仲七

昼飯八十五文小野川十七文

小野より一り富山江十八丁観音堂

下り寺あり六文みよ〇〇〇松島

七月十四日

絵〇出ス松島菱屋泊

扇屋といふあり壱り半あり

四軒茶屋有り是より利府塩釜

追分有り右利府一り青葉権現道

あり左塩かま一り十一丁

十六日

白石城下町かんのや留吉泊

貳百文

柵こ町泊

七月十七日

須賀川泊 家屋泊

是より矢吹宿江二り半町宮町行

左江入棚倉道江釜子宿江三り廿八丁

越後高田御陣屋あり笹之め村三り

笹之め村江泊旅籠屋式三軒御座候

五り登り茶屋なし難渋なり

峯ニ奥下常三ヶ国境三社権現有り

八丁下りヤミじよ山坂東廿一番

札場也下之坊江御下ケニ相成

上郷村江三り下り返家小野江二り

廿日

堀之内村一り半境屋永蔵江泊

高倉江三り手鹿野江一り八丁町田江二り

和田江二り佐竹寺江一り半

一り半行額田渡し

額田宿川渡し十六文二里八丁

廿一日



行田彦宿江叶屋佐左衛門泊

式百三拾貳文弁当附廿八町行

枝川宿川渡し十文下町江

一リ町家続本町通り一町田

迄登り詰作町通り御城内江入り

古道乾江出ル北三ノ丸大手也

家町通出ル笠間通り五リ

立場泊屋あり笠間筒屋

彦兵衛泊案内切手出ル佐白山

九丁登奥院あくぶ坊いくた坊あり

廿二日筒屋泊

多賀城去京一千五百里

去蝦夷国界一百二十里

去常陸国界四百十二里

去下野国界二百七十四里

去靺鞨国界三千里

西此城神龜元年歳次甲子按察兼鎮守将

軍従四位上勲四等大野朝臣東人之所置

也天平宝字六年歳次壬寅参議東海東山

節度使従四位上二部省郷兼按察使鎮守

將軍藤原惠美朝臣獨修造也

天平宝字六年十二月一日

今市より一リ半行市川村

土橋渡りて右側二石立

つほのいしふみ道

向ニ尾屋根小社見物杯

□也

長サ六尺余

廻り四丈余

同所より半リ□行右側江

荒わかき神社有り

五町も下り野田ノ玉川有り

幅四尺五尺位至而晴続之時分

水少しもなし塩釜社寺江行

大田原江二リ此間ほとけの山

峠朝日堂名堂念仏堂

四郎兵衛修行所あり三丁斗り

登り大場江村行田中三軒屋

山越なり西明寺江坂東札所なり

ま彦宿江出ス山本江下一リ

門毛江一リ家屋瀧藏休

旅籠屋等いたす岩瀬新田江

一リ半あま引江一リ枡屋久兵衛

休向嶋問六右衛門あり八丁登り

あま引山坂東廿四番札場有り

誠ニ高山なり百四十石御朱印あり

間下部江一リ半下館江三リ入口より

土橋渡左りへ入坂上ニ左側ニ而

巴屋林兵衛江泊式百四拾文

下館城主石川近江守一万石

下館より壱リ半行下福良渡

式拾文壱リ行結城町壱リ半

行多け宿一リ四丁諸川町一リ行

仁連町沖屋休

●道中日記帳(渡辺家文書 No.2983)

(表紙)

嘉永五年

道中日記帳

子正月十八日

覚

正月十八日

一草加泊り旅籠貳百四十八文

味噌屋仁兵衛泊り

茶代金貳朱也

十九日

一品川宿村田屋伝左衛門泊り

旅籠貳百四十八文

茶代なし

□未ゆへ

廿日

一程ヶ谷宿藤屋四郎兵衛泊り

旅籠貳百四十八文

茶代三百文

廿一日

一大磯宿宮代屋与惣左衛門

泊り銀貳匁

廿二日

一箱根大権現へ参詣仕候

御社領貳百石

此所御関所有

同

一箱根宿はな道屋四郎左衛門方へ

泊り銀貳匁

茶代金貳朱分貳百文

此間三島大明大社有

廿三日

一吉原宿扇屋伊兵衛方へ

此間清見寺と言寺有 泊り銀貳匁

廿四日

一江尻宿大竹屋平七方へ

泊り銀貳匁

廿五日

駿河九能山へ参詣仕

同

一府中宿萬屋清三郎方へ泊り

貳百三十貳文茶代五百文

同

当宿仙元大社有参詣仕候

廿六日

一同断宿二而雨天二而逗留致候

昼喰百文旅籠右同断

茶代金貳朱也

廿七日

一大井川渡りかな屋宿

川賃百四十文 松屋佐右衛門方へ泊り

貳百三十貳文

廿八日

一掛川宿より秋葉道入ル三久らへ五リ半

同

一三久ら宿かさや安兵衛方へ泊り

旅籠貳百貳十四文

廿九日

一木田川舟わたし迄三里  
船賃十弍文

同

十四丁

一坂下高木屋方へ弁当昼喰いたし

同

一坂下より秋葉山迄五拾丁登り

同

一秋葉山より天龍川迄壱リ半船賃十弍文

同

一天龍川より石打村迄壱リ半

右村木乃下屋勘兵衛方へ泊り

旅籠弍百文

三十日

一石打より大の村へ六リ廿丁大のより

同

一鳳来寺迄壱リ鳳来寺より角屋村へ九丁

同

一角屋村布袋屋与市方へ泊り 百八十文

二月朔日

角屋より豊川稲荷大明神大社迄五リ半

禅宗二而明源院御朱印 五十石也

是より東街道

二月朔日晚

二リ半

赤坂宿多葉柏屋庄五郎方へ泊り

茶代金弍朱也 旅籠弍百文

二日晚

此間十一リ

な良み宿ぜにや清三郎方へ泊り

茶代金弍朱也 旅籠弍百文

三日

名古屋御城下迄三リ

同 此間五リ

祇還天王へ参詣仕御社領

千五百石

此より船二乗り役所船賃六十五文ツゝ

船口四十三人二而金壱分弍百文

三日夕

夫より桑名町錦屋 方へ泊り

旅籠弍百弍十四文

四日

白子観音参詣仕かんおん地内

ふだん桜開花あり 此間九リ

四日夕

上野宿萬屋源四郎方へ泊り

旅籠弍百文

五日晚

新茶屋宿秋田屋儀右衛門方へ泊り

弍百文

六日

龍太夫より酒さかな馳走有

手代出迎是より二見浦駕籠二而

廻り龍太夫着仕候六日夕

宮川紙子屋隣右衛方二而

休酒希御馳走有次二二見浦

角屋二而昼喰仕候次へ龍太夫

雑さつ二付有瀧屋作右衛門方へ

止り宿相成申候

七日

内宮より外宮より浅間嶽迄

駕籠二而参詣仕候

夫二付楠峠ヶ茶屋二而弁当仕

次二楠茶屋二而夕喰仕候

夫より龍太夫へ着仕候夜喰し

うどん出ル

八日

太々執行仕候

九日

休息

十日 磯部寺神宮御参詣仕候

十一日 休息

十二日

伊勢出立御師様より宮川迄駕籠二而送り

同晩

大かせ村小林屋庄助方へ 此間四リ

泊り弁当附百七拾弍文

十三日 早朝より雨天

野尻村瀧原大神宮

此間四リ半

参詣仕社領百五拾石

同村竹川屋重兵衛方へ泊り

百七拾弍文 弁当附

十四日

此間八リ

三浦村多びす屋行右衛門方へ泊り

百七拾弍文 弁当附

十五日

此間八鬼山峠言難所坂有り

十五日晩 此間九リ

そね村佐野屋久右衛門方へ泊り

百七拾弍文弁当附

十六日

二木嶋より木野本迄船へ乗船せん

六拾四文此所船へ乗べからず殊ニよる難船有

十六日晩

新宮町和多屋方へ泊り弍百文弁当附

十七日朝

新宮大権現へ参詣仕候

山役銭札料共三十三文ツゝ

十七日

第老番

十七日晩

那智山実方院山役銭百弍拾四文ツゝ

坊入弍百四拾八文ツゝニ而泊り弁当附

十八日晩

熊野本宮高須兵太夫泊り

十九人ニ而金三分坊入老人ニ付弍百五十五文ツゝ

弁当付

十九日朝

湯峰ニ而小栗判官入湯

仕候湯銭十二文ツゝ

十九日晩

近露村志ま屋文吉方へ泊り

百八拾文 弁当附

廿日晩

田辺町ね志かね屋庄兵衛方へ

泊り弍百弍拾四文弁当附

廿一日

江浪村志んや佐七方二而弁当仕候

同

日高川船渡し船せん式拾文ツ、  
道城寺十一面觀世音参詣いたし

廿一日晩

原谷村若山屋桶右衛門方へ泊り  
百八拾文弁当附

廿二日

湯浅竹中八郎右衛門方二而弁当

廿二日晩

日方村笹屋忠兵衛方へ泊り

式百文弁当附

廿三日

第貳番紀伊国紀三井寺夫より

玉津嶋大明神へ参詣仕候

夫より紀州若山城之有

夫より根来山参詣いたし

廿三日晩

粉川宿車屋文蔵方へ泊り

式百文弁当附

二月廿四日朝

第三番 紀伊国

粉河寺

同廿四日附

高野山芝之坊明王院

廿五日

奥院大師参詣

帰り泊り 坊より廿五丁

廿六日

逗留いたし

廿七日出立

第四番 和泉国楠尾寺

廿七日晩

坊中延命院泊り

式百式十四文弁当附

此所坊中多シ在家なし

廿八日

堺住吉四社大明神大社参詣

廿八日晩

大坂河内屋庄右衛門方泊り

式百四拾八文

廿九日

芝居見物致シ返り泊り

三十日

逗留見物いたし色々

買物いたし

閏二月朔日出立

大坂天王寺太子堂参詣

夫口所々名所旧跡まわり

朔日

第五番河内国藤井寺

朔日夕

たいま菊屋権右衛門方へ泊り

式百文 弁当附

二日朝

当麻寺中将姫名所有

参詣いたし

二日

第六番 大和国壺坂寺

二日夕

腰部村松屋弥兵方へ

泊り貳百文弁当附

三日

吉野蔵王権現へ参詣いたし

三日

養水院陀羅□本元や

夫より当峰本社大□冠

□□□□次二十三塔有り其外

三日

第七番 大和国岡寺

三日夕

岡寺玉屋清右衛門方へ泊り

百三拾六文弁当附

四日

第八番大和国長谷寺

第九番同国南園堂

奈良大仏殿春日大明神

神社仏閣多し

但し何人ニ而も案内銭八十八文

四日夕

奈良町かこや喜八郎方へ

泊り貳百文弁当なし

五日

第拾番 山城国宇治三室戸寺

かんおん前宇治

名茶有□□

五日夕

下醍醐村八幡屋平次郎方へ

泊り百八拾文弁当附

此間四リ斗宿なし

六日

第十一番 山城国上醍醐寺

六日

第十二番 近江国岩間寺

六日

第十三番 同石山寺

六日

瀬田宿亀屋市左衛門方ニ而弁当

せ田から橋渡ル

六日夕

草津宿池田屋新七方へ泊り

百八拾文弁当附 此宿へ夜道よらず

七日 是よりさかさ打仁保より船乗り

船路五十丁船賃貳十四文

第三十壱番近江国長命寺

参詣いたし夫より船乗り

船路二リ船賃貳十八文

七日

第三十貳番近江国観音寺

七日夕

中仙道武佐宿米屋孫兵衛

方へ泊り貳百文弁当附

八日

宇ば餅名物より船道有廿五丁

矢乗瀬より五拾丁船乗船賃三十八文

八日

第十四番近江国大津宿三井寺

八日夕

上坂本表具屋嘉右衛門方へ

泊り式百文弁当附

九日

比叡山伝教大師参詣いたし

講堂多し御朱印五千石

九日

鞍寺毘沙門天参詣いたし

其外四拾八文

九日

上加茂大明神参詣いたし

下加茂大明神参詣いたし

九日夕

京都もちや惣左衛門方へ

泊り

十日

第十九番京講堂

十日

第十八番京六角堂頂法寺

十日

白川殿三十六文ツゝ二而かわらけ

盃頂戴

十日

吉田殿八百万神参詣いたし

十日

黒谷境内諸堂多し

十日

智悉院宮様参詣いたし

十日

祇還大社参詣いたし

十日

第十六番京都清水寺

十日

かんおん前吉野屋四郎兵衛方二而

弁当代百文ツゝ

十日

第十七番京都六浪羅

十日

第十五番同今熊寺

十日

三拾三間堂参詣いたし

十日

東本願寺参詣いたし

夫より帰り

十日夕

餅屋惣左衛門方泊り

十一日

北野天満宮参詣いたし

東寺参詣いたし

夫より

色々買物いたし

十一日夕

逗留いたし泊り

十二日出立

嵯峨积加如来参詣いたし

十二日

登宿山寺大権現参詣いたし

上り五十丁下り五十丁

十二日夕

龜山御城下和多屋

伊兵衛方へ泊り貳百文弁当付

十三日

第廿老番 丹浪国穴太寺

十三日

第廿番山城国善峰寺

十三日

山崎宝寺やわた八幡宮参詣

十三日

第廿貳番撰津国惣持寺

十三日夕

惣持寺門前口久や善平衛

方へ泊り百七十五文弁当付

十四日

第廿三番撰津国勝尾寺

十四日

第廿四番 同国中山寺

十四日夕

西宮宿とうしや治兵衛方へ

泊り百六拾四文弁当附

十五日

西宮大神宮参詣いたし

兵庫町名所多し

湊川一ノ谷名所多し

兵ごより大蔵谷迄五り間宿なし

十五日夕

大蔵谷常本屋治兵衛方へ  
泊り百六拾四文弁当附

十六日

本所住吉大明神社有

此所住吉の手まくら松と言って

名木あり

十六日

高砂志方屋惣兵衛方

より船乗り半旅籠百文

船賃銀九匁ふとん代老まい百文

船役錢五文

十六日七ツ時より船のり

十七日夜八ツ時頃船附

十八日朝丸龜御城下上り

夫より金毘羅へ五拾丁道三り

十八日

金毘羅大権現参詣いたし

屏風浦善通寺弘法大師ノ

御誕生之場有り是江まわり

十八日夕

佃屋金十郎方ニ而半旅籠

百七拾貳文役所錢共

夫より船乗り

十八日夕八ツ時乗出シ

十九日夕九ツ時室津上り

廿日朝

室津宿宇和島屋七右衛門方へ

半旅籠百廿文

廿日



第廿七番 播磨国書写寺

廿日夕

姫路御城下和泉屋文治郎  
方へ泊り百八拾文弁当附

廿一日

第廿六番 播磨国法華山

廿一日夕

かも川村橋本屋喜左衛門方へ  
泊り百六拾四文弁当附

廿二日

第廿五番 播磨国清水寺

廿二日夕

福知山御城下花屋小平  
方へ泊り貳百文弁当附

廿三日

丹波国元伊勢外宮社

内宮社間社多し

廿三日

第廿八番 丹波国成相寺

廿三日夕

宮津御城下茶屋六治  
方へ泊り貳百廿文弁当附

廿四日

第廿九番 丹後国国境 松尾寺

廿四日夕

松尾観音前百姓家市左衛門  
方へ泊り百八拾文弁当附

廿五日

若狭国八百姫大明神

参詣いたし

廿五日夕

小浜御城下米屋久治郎  
方へ泊り貳百文弁当附

廿六日

鬼入村めのお細工あり

廿六日

熊川村茶屋二而弁当致シ

廿六日夕

今津船附木綿屋清兵衛

方へ泊り貳百廿四文弁当附

廿七日朝

今津より竹生嶋参詣すぐ長浜迄  
船のり船賃百文弁才天借地二付  
山役銭六文船置五文

廿七日

第三十番 近江国竹生嶋

廿七日夕

春照宿ひやうたんや九内方へ  
泊り百八拾文弁当附

廿八日

中仙道赤坂宿田中屋多助方  
二而昼喰致し

第三十三番 美濃国谷汲寺

此所かへたんまはり口さいけ

代三十三文山役十三文

廿八日夕

谷汲門前米屋清次郎方へ  
泊り百六拾四文弁当附

谷汲より中仙道加納宿迄間ニみたへ村  
といふ所ニよき宿や平田家あり

谷汲より五十丁三リ

廿九日

中仙道加納宿橘屋又右衛門方ニ而

弁当いたし

廿九日夕

同大田宿磯ヶ谷茂□九郎方へ

泊り式百文弁当附

太田渡シ船賃式十四文

三月朔日同

同細久手宿糸田屋仁平方

ニ而弁当致し

朔日夕

同大井宿池田屋弥兵衛方へ

泊り式百文弁当附

三月二日

落合宿津多屋半四郎方ニ而

弁当致シ

同二日夕

三留野宿相沢屋弥右衛門方へ泊り

百七拾式文弁当附

御本陣ニ而よき宿なり

三日昼夕

大多ニ而逗留いたし

昼喰七拾式文

百四拾八文

弁当なし

茶代式百文

旅籠

四日

立町村久保屋伝之丞方ニ而

弁当いたしにしめ代十六文

四日夕

福嶋宿白木重郎左衛門方へ

泊り百九拾文弁当附

五日

藪原 さし櫛沢山出来ル所也

尤あとさきふだん□□共

みる□よし決而買□うの

五日

奈良井 置荷出来ル所也

若し永候ハゝかけねあり

五日夕

洗馬宿大津屋平次郎方へ泊り

蕎麦旅籠ニ而式百文 弁当附

六日

右宿より北国海道善光寺道入ル

六日

松本御城下茶屋ニ而弁当いたし

六日夕

北国海道青柳宿大黒屋

八右衛門方へ泊り百九拾文弁当附

此宿丁寧也

七日

北国海道いなり山宿茶屋ニ而

弁当いたし

丹波川船渡し三筋渡ル船賃

百五拾文

七日

善光寺如来参詣いたし  
開□泊り冥加銭六文ツゝ  
門前町屋多し

七日夕

町屋藤屋平左衛門方へ泊り  
式百文弁当附

藤屋平五郎本陣二而よき宿申事也  
善光寺より追分迄三リ元道返り

八日夕

榊宿御本陣宮原庄吉方へ  
泊り式百文弁当附

榊宿手前寂蒔村といふ所ニ  
色々さなだ沢山出来ル所也

九日

上田町御城下茶屋二而  
弁当いたし

上田島つむぎじ多色々きぬ  
物沢山出来ル所也

九日夕

小諸町御本陣上田宇源□  
方へ泊り式百文弁当附

十日

中仙道追分出ル追分轡掛ケ  
軽井沢坂本右四宿女郎

沢山居所也

十日

軽井沢より臼井峠上下三リ  
坂本宿迄

十日

松枝宿いかりや源左衛門方へ  
泊り式百拾六文弁なし

十一日

椿名山参詣いたし

十一日夕

伊香保木暮武太夫方へ  
泊り式百四拾八文なし

八ツ半時より入湯いたし

十二日

坂東  
第十六番 上野国水沢寺

十二日

第十五番 同国白岩寺  
十二日夜

高崎御城下大国屋九兵衛  
方へ泊り式百三拾式文なし

十三日

深谷宿茶屋二而昼喰  
六拾四文

十三日夕

熊ヶ谷宿ふせ田勘右衛門方へ  
泊り式百三拾式文

十四日

騎西町谷屋二而昼喰代半旅籠  
右町迄向馬出ル

表具師

京六角通り丹波屋善吉預

月牌三十三所 大仏  
弘法大師  
右四本四拾八文ならし

スカ  
砂場

宗七

●道中日記帳（戸田家文書 No. 149）

（表紙）

嘉永五年

道中日記帳

子正月十八日

覚

正月十八日夜式百拾八文

一大沢泊 清水屋（越谷）

十九日

○百式拾式文昼飯代として

十九日夜式百十六文

一品河泊 武蔵屋

十九日

式拾四文 あんま取

廿日

○十五文 六合渡（多摩川）

廿日

式拾八文 昼飯代河崎

廿日

式拾八文 わらじ代

廿日夜 式百廿四文  
一戸塚泊 吉本や

廿日

式拾四文 あんま取

廿一日

○十五文 馬入川渡（相模川）

廿一日

七拾式文 昼飯代平塚

廿一日夜式百十式文

一小田原泊 大清水屋

□□

廿一日

三拾式文 あんま取

廿二日

式拾四文 □□錢

廿二日

三拾式文 ぞうに

廿二日

金式朱分三百文五十六文 加籠代

廿二日

百文 昼飯代

廿二日式百七十式文

一三嶋泊 □□や

□本□

廿三日

百八拾文 昼飯代

□式拾文 白酒

式拾四文 藤川渡

廿三日八ツ時

□□□  
廿三日夜弍百弍拾四文  
一蒲原泊 まきや  
廿四日  
三拾六文 昼飯代  
廿四日夜弍百文  
一府中泊 吉津屋  
廿五日  
○弍拾文 あべ河渡  
廿五日  
百文 昼飯代  
廿五日七ツ時通り  
○百四拾文 大井河渡  
廿五日夜弍百文  
一金谷泊 米や  
佐五兵衛  
廿五日  
三拾弍文 髪結銭  
廿五日夜  
○□□  
廿六日朝  
□□  
廿六日  
四拾弍文 餅  
廿六日  
四拾八文 昼飯代  
廿六日夜弍百廿四文  
一見附泊 三河屋  
廿七日

四拾四文 天龍河  
廿七日  
九文 之しがき  
廿七日  
四拾八文 昼飯代  
廿七日  
(舞阪)  
五拾六文 前坂よりあらい迄  
廿七日  
六拾文 □□□酒□  
廿七日夜弍百文  
一あら井泊いでや  
廿八日  
五拾六文 昼食代  
廿八日廿九日夜百七拾弍文  
一赤坂泊 米屋源助  
廿九日  
十六文 □□  
晦日  
十三文 岡崎舟賃  
晦日  
百文 昼飯代  
晦日夜弍百文  
一なるみ泊 鈴屋  
二月朔日  
百四文 宮舟賃  
朔日  
三拾七文 右酒手  
朔日

三拾貳文 右舟ニ而使  
朔日夜貳百三拾貳文  
一桑名泊 山田屋仁右衛門  
二日  
拾老文 わらじ  
二日  
□拾四文 昼飯代  
二日  
拾九文 つけ□  
二日  
拾文 はまぐり  
二日夜貳百文  
一白子泊 津みや  
三日  
拾文 だんご  
三日  
百文 昼飯代  
三日  
拾文 くも津河渡し  
三日夜貳百文  
一松坂泊 大和屋□□  
四日  
○拾貳文 櫛田川渡  
四日  
○六文 拂川渡  
四日  
一宮川渡り  
同  
中河 昼飯

四日中河ニ見御師迄  
五百文 古津□□  
四日  
貳百四拾八文 加籠屋□□  
四日  
百四拾八文 □□□  
五日□□  
□□□參□□  
六日  
四百文 万金丹  
六日  
金□分貳朱  
六日  
百文 万金丹  
八日朝  
柳古里  
代四百文  
八日  
四拾文 油紙  
八日  
三分 前紙  
八日  
四百文 右同断  
二月四日晚より  
十日夜迄  
十一日  
三拾貳文 うとん  
十一日  
六文 舟ちん

十一日 〇式文 □た渡し  
十一日 五百四拾八文 たば古入  
十一日 三百六拾四文 □□□  
十一日 十一日夜式百文  
一大和屋泊松坂宿  
十二日 〇六文 舟渡し  
十二日 六拾四文 昼飯代  
十二日 〇拾四文 櫛田河渡  
十二日 十二日十文雲津川舟渡し  
十二日 三拾式文 そうめん  
十二日 夜式百文  
一白子泊 白子や藤右衛門  
十三日 百拾六文 □た□□□  
十三日 十三文 わらじ壺足  
十三日 〇拾式文 そば  
十三日 四拾八文 昼飯代  
十三日 夜式百四拾八文  
一桑名泊 佐渡屋

十四日 十四日 金式朱分式百文 小使拂  
十四日 五拾壺文 桑名よりさや舟渡し  
十四日 式拾四文 □□□  
十四日 六文 まわし  
十四日 十四文 わらじ  
十四日 八文 おてん  
十四日 八文 こまふき  
十四日 四拾八文 昼飯代  
十四日 拾五文 餅  
十四日 八文 難わ河渡し  
十四日 夜式百式拾□文  
一名古屋泊 丸屋  
十五日 拾六文 橋代  
十五日 拾式文 橋代  
十五日 五拾六文 昼飯代  
十五日

五文 盃  
十五日  
□拾八文 うどん  
十五日夜百七拾貳文  
一高山泊 尾張屋 (土岐市)  
十六日  
貳拾文 橋代  
拾八文 おてん  
十六日  
三拾八文 うどん  
十六日  
三拾貳文 右同断  
十六日  
三拾貳文 髪結銭  
十六日夜百八拾文  
一中津河宿泊十八や  
十七日  
六文 焼飯代  
十七日  
拾八文 之しがき  
十七日  
四拾八文 昼飯代  
十七日  
十三文 菓子  
十七日夜百八拾文  
一須原宿泊 糍屋守右衛門  
十七日夜  
百貳拾四文 花□  
十八日

十四文 わらじ  
十八日  
三拾貳文 うどん  
十八日  
四拾貳文 昼飯代  
十八日夜百七拾五文  
一やご原宿泊 こめや  
十九日  
拾六文 わらじ  
十九日  
四拾八文 昼飯代  
十九日八ツ時分  
一せば宿善光寺追分  
十九日夜百七拾八文  
一塩じり宿泊 みどりや  
廿日  
四拾四文 昼飯代  
廿日  
拾貳文 餅  
廿日  
三拾貳文 うどん  
廿日  
拾六文 之しがき  
廿日夜百八拾文  
一和田宿泊つちや健次郎  
廿一日  
□拾文 わらじ  
六拾文 昼飯代  
廿一日夜百七拾□文



一坂本宿泊 いせや兵左衛門  
廿二日夜百七拾貳文  
一同宿泊 右同断  
廿二日  
四拾八文 小使  
廿二日  
三拾貳文 髪結  
廿三日夜  
一同宿泊 右同断  
廿四日  
金壹分貳朱也  
貳百六拾八文  
廿四日夜百七拾貳文  
一同宿泊 右同断  
廿五日  
八百文 □  
廿五日  
八文 いも□□□  
廿五日  
□□□□弟  
廿五日夜百三十貳文  
一倉がの宿泊 ほり□や  
廿六日  
貳拾貳文 わらじ  
廿六日  
貳拾四文 あま酒  
廿六日  
百文 昼飯代

廿六日  
金貳朱 □貳  
廿六日夜百三十拾貳文  
一熊ヶ谷宿泊 □□や  
廿六日  
拾□ 宿帳へ都郡合  
廿六日  
□拾四文 わらじ  
廿七日  
三拾貳文 うどん  
貳膳  
廿七日  
貳百六拾四文  
色々諸割金納  
廿七日  
四拾貳文 うどん  
廿七日  
百八文 飯代  
須賀村新田  
戸田亀太郎  
●鹿嶋道中日記手控帳（渡辺家文書 No. 848）  
（表紙）  
文久貳年  
鹿嶋道中日記手控帳  
戊二月廿日出立

廿一日

一御朱印五拾式石

法漸寺江

参詣仕候

夫より

船橋

一大社宮江参詣

社下角屋二而

中飯仕候

廿一日よ

一三百廿四文

臼井宿

太田屋武右衛門泊候

廿二日

一百三拾式文

同宿へ

雨天二而逗留仕候

同宿二而中飯候

廿二日よ

一三百廿四文

右同断

逗留泊せん

廿三日

臼井より佐倉御城下通り

宇吾明神廻り参詣仕候

夫より成田山へ参詣仕候

一成田丸太屋中喰百式十四文

一臼井より成田迄四り半

成田より滑河江式り半余

坂東廿八番札所 壹丈式尺

一滑河山浄福寺 十一面觀世音

五間四面南向御朱印五石

天台宗

なめ河より源太かし江 十八丁

廿三日よ

一源太かし佐原原屋泊り

旅籠三百文夫より三社参り

銚子迄船賃壹人分四百文つゝ外二

船式旅籠金式朱也酒代飯料として相定

源太岸より船乗夫より幸田渡シ迄一り

幸田より阿波迄十八丁

廿四日

一阿波明神参詣 天台宗二而大社也

夫より幸田渡し戻り幸田渡より神崎江

老り神崎明神江参詣明神社内ニ

難じやもんしやと言名木あり

夫より船乗押砂江上り

一押砂村 佐わらや治郎右衛門二而

中飯百四拾八文夫より又船乗

いたこと口て急き四り

廿四日よ

一いたこ 村田屋源兵衛泊り

旅籠三百文

夫より津ノ宮鳥居岸上り

潮来より岸迄ニり余夫より

香取大社宮江十八丁

一香取大神宮参詣津ノ宮

鳥居岸迄通り村田屋二而

中喰仕候中喰代百三拾六文

夫より船乗鹿嶋行

廿五日

一大船津岸 若松屋泊り

旅籠三百文

夫より鹿嶋神宮迄十八丁

廿六日

一鹿嶋大神宮江参詣

重□大師立勝作太夫中喰より

御世伝ニ相成候

廿六日よ

一鹿嶋御師 立勝作太夫江泊り

坊入として三人前金貳朱也

外ニ金壹分也相料

金壹分也御参代

夫より大船津岸よりいきす大神宮迄

船路三リ

廿七日

一息栖太神宮江参詣

息栖岸浅田屋ニ而中喰仕候

百三拾貳文夫より銚子迄

船路六リ此間砂山と言名山

見へる也

廿七日よ

一銚子今宮からに岸高安江

泊り旅籠三百貳拾四文

此間拾八丁

坂東廿七番

一飯山寺円福寺観世音

参詣観音前茶屋ニ而休

銚子

夫より演廻り

廿八日よ

一飯岡村江泊り津軽屋泊り

此間下木戸迄五リ余  
旅籠五百廿四文中喰代

廿九日

百三拾貳文雨天ニ而逗留いたし候

夫より九十九リ演廻り夫より下木戸村

鈴木屋ニ而中喰仕候夫より東金町

江五リ余

三月朔日よ

一東金町 つた屋庄兵衛泊り

此宿よき宿也

旅籠三百三拾貳文

夫より大網村江壱リ余爰ニ泊り有

夫より本納村江壱リ余爰ニも泊りや

有夫より茂原村江壱リ余

二日昼

一茂原村角ノ茶屋ニ而中喰仕候

夫より笠森迄三リ余何レも五十丁壱リ

坂東三十壱番

一笠森観音参詣仕候 天台宗ニ而

御朱印六拾石

三月二日よ

観音前多々みや泊り旅籠

三百文此宿江泊□□□□是より廿五丁

斗下りて長南町といふよき町家

あり泊り八九軒有て中ニも銀金也

糍屋唱八宜敷宿也長南より清水迄

五リ余此間泊屋なし

坂東三十壱番

一清水観世音参詣 天台宗ニ而

大寺也

観音前音羽屋ニ而中喰仕候

百三拾六文爰ニ茶屋壱軒御座候

夫より御宿新町迄三リ余此間

泊り屋なし

三日よ

一御宿新町松屋泊り 旅籠

三百三拾式文

爰ニ泊り外ニ式軒あり夫より

かつ浦江ニリ爰ニも泊り有

夫より沖津江式り

四日

一沖津茶屋ニ而中喰仕候夫より

天津江式り夫より前原江壱リ余

御宿より天津迄ノ間大坂ニ而

難所也

四日よ

一前原宿吉田屋泊り旅籠

三百三拾式文

此宿よき宿也

夫よりみの岡通り掛り

石堂江五リ余此間茶屋泊りや

なし

五日

一石堂観音参詣仕候 是ハ上総房州

新坂本観音也

観音前橋本屋ニ而中喰仕候

五日よ

百四拾文此茶屋ニ而泊屋も仕候

夫よりなこ江三リ余

一なこ町菊屋泊り旅籠

三百四拾八文

夫より

坂東三十三番房州

一神陀洛山那古寺観世音 真言宗ニ而

御朱印三百石

夫より市部村江ニリ爰ニ泊り有

夫より保田村江ニリ余爰ニも泊り屋有

夫より羅かん江登り式拾丁下りて

金谷村江壱りらん□□茶屋山本屋

ニ而中喰

百四十八文 夫より

一鋸山日本寺らん奥院釈加如来

参詣仕候御朱印拾五石禅宗也

夫より

六日よ

一金谷村亀屋泊り 旅籠

三百三十式文

外ニ泊屋なし

夫より百師村江ニリ夫より天神山村江

壱り

七日

一天神山村松屋ニ而中喰仕候

百三拾六文

夫より鹿野山迄三リ余

七日七ツ時

一鹿野山薬師尊江参詣仕候 真言宗也

此堂大伽らんニして 御朱印五拾石

七日よ

一鹿野山ふじ屋泊り 旅籠 三百五拾文

爰ニ泊り屋十軒余有何レも

大宿也夫より高倉迄三リ余

此間泊り屋なし

坂東三拾番

一平野山高倉寺観音参詣仕候

爰ニて角屋といふ茶屋ニ而中喰仕候

外ニ茶なし

夫より木さら津江ニリ余

八日よ

一木更津岸船宿折本勘次郎泊り

旅籠三百拾六文夫より翌九日

九ツ時頃船乗出し夕暮六ツ時頃鉄砲

津岸へ着船致し候

草津入湯道中記

七月九日出立

一騎西町江五リ 夫より

一行田江ニリ 夫より

一熊ヶ谷宿へ二リ当宿へ泊り 小松屋新兵衛へ

旅籠三百四十八文

一深谷江三リ深谷より本庄迄三リ本庄より

一新町へ二リ半新町より高崎迄壱リ半

押山へ四リ押山より三ノ倉江三リ半三ノ倉より

大戸迄三リ此所御関所有

御関所入用男衆老人ニ付廿四文つゝ

女中老人ニ付式百文つゝ夫より須賀尾迄三リ

一須賀尾より長野原迄三リ半長野原より

草津迄三リ半湯本安兵衛方ニ而

三廻り入湯仕候夫より

一草津出立式リ行□□なり夫より

六リ峠也沢足ノ名湯あり爰ニて

一夜泊り入湯仕夫より伊香保へ

文久三年

亥とし二月晦日出立

秩父観音参詣其外所々成所

二月晦日

一須賀村より一リ半行篠津村

夫より五リ行鴻巣宿夫より壱リ

半行吉見観音坂東十一番

夫より十八丁行岩室観音参

詣夫より壱リ半行松山稻荷江

参詣夫より壱リ半行比企岩殿

観音参詣坂東拾番観音

前丁子屋方へ泊り

三月朔日

一岩殿出立夫よりニリ行一市町二リ

爰ニ泊り屋壱軒有夫より式リ行慈光山

坂東九番参詣町屋より十式丁上りて観音社

参り夫より又十式丁下り宿ニ而昼

喰仕候夫より一リ半行大野村通り

此村ニて泊屋茶屋なし夫より

凡四リ半峠難所也下りて秩父

札所式番観音参詣夫より廿式丁

下りて老番四まんふ観音参詣

□□屋泊り

二日

一四満ぶ儀出立三ばん廿五丁川あり

四番江十四丁五番江十三丁六番江十九丁

七番へ六丁八番江十式丁川有九番へ

十六丁拾番江廿丁拾壹番へ七丁拾貳番

江十壹丁十三番江拾丁十四番へ六丁

夫より大宮宿へ出候也

大宮町井上と申旅籠屋ニ而昼

喰屋旅籠老人前百三十式文つゝ

夫より十五番へ六丁妙見社内通り

参詣夫より十六番へ九丁十七番へ

八丁十八番へ十壹丁十九番へ十壹丁

廿番へ九丁此間ニ荒川舟渡シあり

船賃廿八文也廿老番へ六丁廿貳番へ

七丁廿三番へ十七丁廿四番へ廿九丁

廿五番へ廿四丁門前ノ百姓屋へ泊り

旅籠貳百八拾文

三日

一廿五番出立夫より廿六番江廿九丁廿七

番江十壹丁廿八番江十四丁廿九番江

十八丁三十番江壹り三十丁参詣いたし

下りて白久村清川治右衛門方ニ而昼喰

百四拾八文夫より大日向江三リ余峠他

□□□□大師江参詣夫より三峯山江

式り峠難所也三峯山江参詣坊へ泊り

四日

一三峯山を出立夫より新川江三リ下て

三十壹番へ三リ余あら川□□□渡り

夫より三十二番江ニリ廿丁参詣いたし拾丁

余下りて般若村泊り百姓やニ而

極悪き也

五日

一般若村出立夫より三十三番へ壹り拾丁

爰ニ泊り屋式三軒あり夫より半り行

吉田町と云うよき町屋あり夫より半り行

峠式り上下壹り峠下りて三十四番札所也

夫より野上村へ式り余夫より家三リ余

より家町大谷屋

六日

一より家町出立夫より深谷宿へ三リ余

夫より目沼へ三リ夫より太田町江式り半

吞龍様へ参詣夫より赤岩村へ三リ

半

覚

一十三兩貳百文銭金廿預り

外ニ

式兩三分也

八貫五百文相渡し申候

須賀村

惣七

●往来手形（新井家文書 No. 2791）

往来一札之事

一此禅栄尼拙院弟子ニ御座候処

此度所々靈仏靈社為參詣

罷出候間若シ行暮候者止宿頼

入候万一病死仕候ハ其所之

御定法を以御取置可被下候態与

御届被下ニ不及幸便之節書状ニ而

御届可被下候為後日一札仍而如件

嘉永五壬子年 武州埼玉郡小久喜村

八月 寿楽院印

所々

村々町々

御役人衆中

●往来手形 (戸田家文書 No. 103)

往来之事 探一

一比者武州葛飾郡幸手領

堤根村出生ニ御座候処比度

針熟行ニ罷出候処国々

御閑所様方無相違御通シ被成

被下置様奉願上候尤国々

御村方衆中若其地ニて病死

仕候ハ御村方御沙法ニ御座仕

□被成可被下候右御村方奉願

上候以上 親類 伝兵衛

国々 年寄 新兵衛

御閑所様 名主 長左衛門

村々

御役人中

●様名参詣往来手形 (岩崎家文書 No. 3430)

差上申手形一札之事

池田大隅守知行所村

武州埼玉郡百間中嶋村

百姓 岩次郎悴

〃 重次郎

若蔵

右之者此度椿名山参詣ニ罷越候ニ付  
御閑所御通可被成候以上

慶応二寅年二月日

右村

名主 文次郎印

御閑所

御役人中様

●伊勢参詣往来手形 (岡安家文書 No. 264)

差上申手形之事

一此者拾四人知行所武州埼玉郡糸原村百姓右之者共、

今般心願之儀有之伊勢参詣仕度一同願ニ付差遣シ

候間、其 御閑所無相違御通可被下候為御断如

斯御座候、以上

細井宗左衛門内

弘化二巳年正月十日

近藤保右衛門印

箱根御閑所

御番衆中様